４時１５分〜４時４５分　ワンさん＆堀さん

ワ：はじめまして。IR/PSの２年生のワンと申します。今日はお忙しいところ来てくださり本当にありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

堀：あ、はじめまして。あのうGLIの堀と言います。

ワ：堀さん

堀：今日は？

ワ：今日はお忙しいところ来てくださりありがとうございました。

堀：暇ですから大丈夫です

ワ：堀さん、堀さんは出身はどちらですか。

堀：えっと、生まれは三重県。ってわかりますか。

ワ：三重県

堀：名古屋わかります？

ワ：わかります

堀：名古屋の隣の県です

ワ：uh uh

堀：こちら、アメリカに来る前に住んでいたのは岡山県。

ワ：岡山県

堀：わかります？

ワ：聞いたことがあります

堀：広島わかります？広島の隣です

ワ：だから、仕事のために東京に住んでいらっしゃいますか。

堀：東京に住んだことはありますけど、今住んでいたのは岡山県。

ワ：岡山県。いつサンディエゴにいらっしゃいましたか。

堀：サンディエゴに来たのは昨年の９月です。

ワ：ああ、９月。ご家族はご一緒ですか。

堀：いや残念ながら、一緒じゃないんです。

ワ：一人ですか

堀：うん。

ワ：ご仕事は何をされていますか。

堀：私は日本でエンジニア。鉄鋼会社。JFスティールっていう名前。に勤めています。

ワ：だから、今アメリカで出張して、出張していらっしゃいますか。

堀：えっとねえ、アメリカでは当然IR/PSで今勉強しているんですけど、出張というよりかは留学。

ワ：はい。

堀：勉強しに来たという

ワ：そうですか。今IR/PSで勉強していますか。

堀：そうです。

ワ：ああ、はい。私も。今日は私は日本に進出している中国企業や日本の交通公共機関や宿泊についていろいろお話ししたいと思います。

堀：はい、わかりました。

ワ：まず日本に進出している中国企業レノボ、レノボ企業、レノボ社を聞いたことありますか。

堀：レノボはコンピュータ作ってるんですかね。

ワ：はい。ご存知ですか。アメリカのフォーチュン雑誌によると、２０１２年の世界上位５００企業の中で、３７０位は３７０位はレノボ社です。

堀：え？何位ですか？もう一度お願いします。

ワ：はい、去年

堀：な、何位（なんい）？

ワ：なんい？１１７０

堀：１１７

ワ：１１７０位

堀：１１７０位

ワ：はい、ランキング。ランキング１１７０位はレノボ社です。レノボ社の主な商品はデスクトップパソコンやノートパソコンやプリンターや携帯電話などです。

堀：最後なんて言いました？

ワ：ああ、携帯電話。中国人は中国には今レノボのパソコンは中国の国内の販売量は第一を到達しました。

堀：レノボ以外に中国でコンピュータを作ってる会社ってあるんですか。

ワ：他の会社？

堀：はい

ワ：中国ではレノボは第一位の有名な会社です。

堀：２位とかは？

ワ：台湾のはいくつか。はい。パソコンはあります。

堀：中国ではレノボが一番有名で、他はないっていう

ワ：他はあまりない。有名じゃない。中国人はレノボパソコンが、国産、しつようがいい、アフターサービスがいい、値段が安いといういいイメージを持っています。堀さんは、どのブランドのパソコンが一番好きですか。

堀：う〜ん、まあ、好きっというと、答えにくいんですけど。今使っているのは富士通と、あと東芝、東芝を使っています。で、家にはNECと、あとソニー。

ワ：ソニー

堀：だから、全然１つのメーカーというわけじゃなくて、いろいろな会社のパソコンを使っています。

ワ：はい。全部日本のパソコンですね。

堀：日本はパソコン作ってる会社たくさんあるんですね。ただ最近はどこもあんまり販売がよくなくて、パソコン徐々にやめてる。すごいshrinkしてますね。

ワ：日本は技術大国ですね。

堀：昔はそうだったと思います。今ちょっとだいぶ状況が変わってきたと思いますけど。

ワ：ソニーのパソコンはきれいだけども、価格がちょっと高いと思います。

堀：そうですね。

ワ：１台のソニーのパソコンのお金を約２台のレノボの同じ質りょうのパソコンを買えます。

堀：それもあるし。昔はね、そのソニーだったら、高いお金を払っても、それだけ品質が高かったんですけど。今はそんなに変わらないですよね。だから、高い値段を払ってソニーを買うのも、あんまり今は少なくなってきましたね。

ワ：大変ですね。

堀：うーん。

ワ：レノボのレノボ会社のThinkPad ThinkPadのことをご存知ですか。

堀：ThinkPad っていうのはIBMですよね。もともと

ワ：はい。ThinkPadは、アメリカ会社IBMの有名な製品でした。でも、２４年のとき、

堀：ん？２４？

ワ：２４年の時、中国のレノボ社はIBMのPC部門をまい、まい、買収しました。

堀：ごめんなさい。２４年ってのは西暦ですか。それとも、昭和ですか。昭和じゃない。平成　２４年

ワ：あー、ちょっと

堀：平成２４年？

ワ：へいせい、たぶん

堀：去年だ？去年？

ワ：いいえ。２４年

堀：２４年？

ワ：２１年？２２年？２３年、２４年

堀：今年は２５年ですよね。

ワ：今年は２０。。。ああ、すみません。２、３０年の時。

堀：２、３０年？

ワ：はい。おう、２００４年。

堀：２００４年。ああ、わかった。了解。

ワ：２００４年の時、中国のレノボ社はIBMのPC部門を買収しました。この後、その後、その後、Thinkpadの評判のおかげで、中国のレノボ企業は中国だけではなく、世界にも有名な会社になりました。はい。Thinkpadは値段がちょっと高くても、しつりょうがとてもいいので、人気がとても高いですね。

堀：だから、それはね、１つはIBMが今まで持っていたコンピュータ部門をレノボに売ったわけでしょ。それもすごいんですよね。日本の企業はそれをやってないから、今だんだん収益が落ちてるんですけど。IBMは、２００４年って言いましたっけ。

ワ：はい。２００４年。

堀：その時に売っちゃって。

ワ：はい。だから、今、IBM、今ThinkPadの上にレノボのロゴがあります。

堀：ああ、もうIBMはぜん、ないんですか。

ワ：ないと思います。だから、中国のレノボ社は日本にもあります。名前はレノボジャパンと思います。

堀：ああ、はい。

ワ：日本の事業所は大阪、名古屋、福岡に３つあります。はい。東京の六本木区にあります。あると思います。

堀：ああ、じゃあ、東京と大阪と名古屋と福岡、４つあるんですね。

ワ：あ〜、東京、東京じゃない。大阪、名古屋と福岡、３つ、だけ。

堀：３つ？東京にはないんですか？

ワ：東京にはない。ああ、はい。たぶん本社は東京。

堀：ああ、本社が東京にあるんですね。わかりました。

ワ：事業所は３つがあります。本社は東京の六本木があります。

堀：東京六本木はご存知です？

ワ：はい、にぎやかなところですね

堀：非常ににぎやかな。値段の、土値の値段が高いところです。

ワ：たくさん外国、外国の会社があります。

堀：そうですね。

ワ：また、レノボのThinkpadについての研究をしている研究所も日本にあります。

堀：あ〜、日本に研究所があるんですか。

ワ：はい。私はレノボ会社は私の今回の勉強して研究している会社ですね。

堀：あ〜

ワ：次に次に東京の特別の東京の交通機関についてお話ししたいと思います。

堀：はい、わかりました。

ワ：はい。堀さんは東京に住んでいらっしゃいますとき、どうやって毎日毎日家から会社に行きますか。

堀：電車を使って行きました。

ワ：おおう、電車。どれくらいかかりますか。

堀：１時間ぐらい。

ワ：１時間。長いですね。

堀：まあでも、東京は普通ですね。１時間は。

ワ：ご仕事のところはどちらですか。

堀：えっと。ひびやって、わかりますかね。

ワ：ひびや。ああ、知っています。

堀：東京駅の近くです。

ワ：はい。東京のてんしゃシステムをどう思われますか。

堀：いやあ、あのう、きれいだし、正確だし、時間にね。よいシステムだと思います。

ワ：便利ですか。

堀：便利ですよ。ただ、夜中やってないんで。２４時間やってくれるともっと便利なんですけどね。

ワ：東京の交通機関とアメリカの交通機関と比べるとどう思われますか。

堀：東京と比べます？

ワ：はい。

堀：東京のアメリカの

ワ：東京とサンディエゴ

堀：サンディエゴ？！

ワ：はい。

堀：サンディエゴだと、町の大きさが違うから比べにくいんだけど。例えば、サンディエゴって地下鉄ないじゃないですか。東京はもう地下鉄がどのくらいだろ、二重路線くらいあって、どこに行くのでも便利で、乗り換えして行けますよね。も。えっと、ニューヨークあたりと比べると、東京と。

ワ：同じ？

堀：比べやすいんですよね。町の大きさとしては。で、ニューヨーク、ニューヨークの地下鉄も私は便利だと思います。

ワ：はい。サンディエゴはちょっと不便だと思います。

堀：サンディエゴはね。車がないとだめですよね。

ワ：自分で運転しなければなりませんね。

堀：うーん、ただ逆にサンディエゴは高速道路とか。道がしっかり整備されてるんで、車運転するのがしやすいんですけど、東京は道がせまい、で、車の数が多いんで、いつも渋滞しているんです。だから、車は便利な面と不便な面、時間がかかるっていう不便な面があります。

ワ：わかりました。東京、東京では運転、車を運転しますか。

堀：はい、しました。

ワ：ああ、しました。私の出身の町は中型、中型、中型の都市ですから、地下鉄がないですから、私は地下鉄、地下鉄に乗る経験が多く、あまり多くないです。だから、ニューヨーク、私はニューヨークに旅行した時、複雑な地下鉄を使うことが、使うことをわかりませんでしたが、まして、東京の世界で一番複雑な東京のでんしシステムですね。はい。ちょっと怖いですね。でも、「東京アイ」というドキュメンタリーを見た後、SuicaとPASMOという

堀：ああ、ああ。はい、はい。

ワ：SuicaとPASMOという便利な電子カードSuicaとPASMOがあるが、あることをわかった後、ちょっと安心しました。

堀：ああ、なるほど。

ワ：堀さん、毎日東京には、毎日SuicaとPASMOのカードを使いますか。

堀：えっと、私はSuicaを使っていましたね。どちらか１枚あればいいんですよ。

ワ：はい。

堀：だから、１枚Suica

ワ：いつもSuicaを使います。私は北京で大学に行ったので、北京の地下鉄を何度も使いました。北京の地下鉄は東京と東京の地下鉄とちょっと違います、違いだと思います。

堀：どういうところが違うんですか？

ワ：北京の地下鉄は均一料金。

堀：あ〜ん。どれだけ乗っても同じ料金ということですね。

ワ：はい。どれだけ乗っても２元です。約２５円。

堀：安いですね。

ワ：すごく安くて便利ですね。

堀：いいですね。

ワ：東京の地下鉄の運賃は目的地によります。

堀：そうですね。はい。

ワ：ニューヨークみたい。ワシントンDC？

堀：ニューヨークもだいたい同じ値段だったと思います。

ワ：さらに日本の宿泊、宿泊ことをお話したいです。

堀：はい

ワ：私は学生だから、アメリカで何度もモーテルに泊まったことがあります。

堀：はい。

ワ：でも、モーテルはちょっと不便だと思います。

堀：なぜですか。

ワ：歯ブラシやスリッパなどのことないですから。日本には、日本のホテルや旅館はそのような施設はありますか。

堀：はい、あのう日本の旅館なんかだと、歯ブラシが置いてあるんで、まあ便利なんですけど、１回使ったら捨てるじゃないですか。だから、もったいない。

ワ：もったいない。大丈夫です。

堀：だから、資源の無駄遣いかなという気がします。

ワ：はい。ホテルと旅館、どちら、どちらがもっと好きですか。

堀：えっとね、ホテルと旅館の違いっていうのはあんまり明確じゃないんですけど、一般的に言うと、えっと、旅館ってのが大きな部屋に、あのう３人、４人ぐらいの人が泊まる、ホテルっていうと、アメリカにあるみたいに１部屋に１人か２人、でベッドがあるイメージ、だとするとですね、私は旅館のほうが好きです。

ワ：旅館のほうが便利です？ビジネス、スタイル？

堀：ビジネスっていうか。遊びに行った時ですね、旅館のほうがくつろげる。

ワ：そうですか。

堀：楽に楽しむことができる

ワ：私は日本の旅館に興味があります。

堀：はい。

ワ：旅館にはお風呂があります。

堀：お風呂ね。いいですね。

ワ：中国のホテルも、ホテルにもお風呂がありますが、人気があまり高くなく、お客さんはあまり使わない。使わないと思います。

堀：なんでですか。

ワ：ホテルのお風呂はきれいじゃない、きれいじゃないのことを心配する心配するかもしれません。

堀：日本は大丈夫です。きれいです。

ワ：はい。自分の部屋、自分の部屋のお風呂を使うこと、使うとき、めんどくさいと思います。はい。だから、お風呂は中国ではあまり人気が高くないと思います。

堀：日本の大きなお風呂っていうのは好きですか。

ワ：はい、はい、好きです。大きなお風呂？温泉？

堀：温泉も。あと、露天風呂わかります？

ワ：ああ、わかります。

堀：外にあるお風呂ね。好きですか。

ワ：はい。私はいつもドラマの中できれいなお風呂を見た、見て、お風呂に入りたくなりました。

堀：だから、日本人は旅館に行って、大きなお風呂、特に露天風呂に入ってのんびりするのが好きなんですよ。非常にリラックスして、一番いいのは、こうちょっとお酒でも飲みながら。お風呂の中で。そういうのが幸せ。

ワ：お酒飲んでお風呂に入りますか。

堀：あのう、入っていいところと、だめなところがあるんですけど、いいところでできます。

ワ：楽しいですね。堀さんは温泉は好きですか。

堀：はい。好きです。

ワ：毎年いくつか温泉に行きますか。

堀：ええ、そうですね。毎年何回か温泉に行きますけど、去年はアメリカにいたんで、行ってないですね。

ワ：アメリカがあまり温泉が多くないと思う。

堀：そうですね。温泉わいてるんだけど、なかなか日本みたいにお風呂にして入るようになってないですね。

ワ：はい。私は中国に温泉を何度も行ったことあります。

堀：ああ、中国にも温泉はあるんですか。

ワ：ああ、はいはい。ある。はい。日本より中国のほうが日本より温泉の数量は少ない。

堀：ああ、少ないんですか。

ワ：少ない。でも、温泉もあります。

堀：ああ、なるほど。

ワ：また、日本の。私は中国でもアメリカでも家の床の上に寝たことがありませんですから、日本の布団に興味があります。

堀：あ〜あ〜、はいはい。

ワ：堀さんは日本に住んでいらっしゃる時、布団をよく使いますか。

堀：はい。布団使います。

ワ：どう思われますか。

堀：ん〜、まあ、こちらではベッドで寝てるんですけど、どちらもいいですね。

ワ：どちらでもいい

堀：ただ私子どもがいて、子どもは寝相が悪い。ってわかります？寝てる間に動くんで、ベッドで、アメリカに来た時にベッドから落ちたんです。だから、彼には布団のほうがいいと思います。

ワ：子どもはベッドのこと危ない。

堀：そう。落ちちゃったんで。布団で寝てるほうが子どもは好きだと思います。

ワ：もっと安全ですね。

堀：はい

ワ：私はドラマで日本人が布団を使うことを見ると、日本人は毎日ゆか？床を掃除しなければならないと思います。

堀：そうですね。

ワ：本当ですか

堀：えーっと、私が１人で住んでいる時は毎日は掃除しませんでした、今は妻が掃除をしています。

ワ：おおう、そうですか。中国、日本は伝統的な文化をよく守る国だと思います。いろいろなこと、布団やお祭りや。よく守ると思います。だから、日本の和室の旅館が今まだ人気が高いですね。中国は昔、昔ところから、昔ところ、昔とき、いすやテーブルとベッドと使いました。西洋に。

掘：ああ、じゃあ、その前はやっぱり床に座ったり、お布団みたいな形で床に寝てたりしてたんですか。

ワ：中国人は昔とき布団のことを使わないと思います。

堀：ベッドを使う前は何を？

ワ：高いベッド。

堀：ああ、じゃあベッド使ってたんだ

ワ：テーブルといす。はい。だから、中国の家を家やホテルやアメリカのホテルによって、

堀：よく似てる。

ワ：Yeah、似ています。日本の交通機関についていくつかいくつか質問があります。

堀：ああ、どうぞ。

ワ：はい。日本の地下鉄の中で、安全じこくは多いですか。安全じこく

堀：安全じこく？

ワ：はい

堀：安全じこくというのは、安全な時間という意味ですかね。

ワ：安全なじこく。

堀：じこく

ワ：アクシデントということです。

堀：アクシデント。

ワ：はい。

堀：ああ、アクシデントはほとんどないです。

ワ：ほとんどない？

堀：はい

ワ：日本のドラマの中でいつも安全じこくがよく見ます。

堀：ちょっと「あんぜんじこく」ってのがわかんないだけど、事故、事故でしょ。

ワ：はい

堀：事故アクシデントだよね。

ワ：はい。

堀：安全ってのはsafe。

ワ：はい

堀：安全事故というと、safe accident？

ワ：はい。ほとんどアクシデントがない。

堀：そうですね。

ワ：とても安全ですか。ああ、そうですね。日本の交通機関にスリがいますか。

堀：ああ、そういうのね。私はあったことないですが、います。

ワ：中国の交通機関の中でたくさんいます。

堀：あ〜

ワ：私は、私とお母さんがバスに乗った時、スリが見たことがあります。

堀：あ〜、私もアメリカで見たことがあります。

ワ：アメリカでだいじょうぶです

堀：アメリカのね、バスだったけど、iphoneか何かをぽ〜んとをスラれた女の子を見ました。

ワ：どこ？どちらですか？

堀：サンフランシスコ

ワ：危ないですね。ダウンタウンロサンゼルスはそのようなことがあります。と思います。

堀：それを考えると、日本では、そういうスリの現場ってのは一度も見たことないです。だから、頻度が少ない。非常に安全だと思います。

ワ：そうですか。日本の電車に女性専用車両があるそうです。

堀：そうです。あります。

ワ：女性としてそのような車両を乗ったほうがいいですか。

堀：あのう、なぜできたかというと、ちかんってわかります？

ワ：はい。

堀：あのう、ちかんする人がいるから、女性ばっかの車両だったら、そういう心配がない。ということで、できたんだと思います。女性は、そういう心配がないから、女性専用車両のほうがいいなと思うんであれば、乗ってもらったほうがいいんじゃないかなと思います。

ワ：はい、そうですか。わかりました。

堀：ただ、男性専用車両がないので、不公平だという声もあります。

ワ：はい、女性専用だけあります。

堀：はい。

ワ：日本の電車に精算機があると聞いています。

堀：精算機ね。精算機というのは目的地まで着いたんだけど、切符を持ってないんで精算機を使ってお金を払うっていう精算機ですね。

はい。

ワ：精算機の使用方法は便利ですか。

堀：はい。便利ですよ。SUICAあるでしょ。SUICAぽーんとICのところにかざしたら、それでお金いくらって出てくるし、で、もしSUICAにお金をチャージできるんですよね。それだったらお金を追加せずに、そのまま自動的に生産できるから、そういう意味では便利ですね。

ワ：わかりました。私は日本に行ったら絶対にSUICAを買います。

堀：そうですよね。いくらってのを調べなくていいから、楽ですよね。

ワ：私は日本の温泉に行きたいです。どちらをおすすめですか。

堀：日本の温泉？

ワ：はい。

堀：たくさんありますから、あのう、なかなか１つって言うと難しいですけ、北海道がいいかな。登別温泉とかいいですよ。

ワ：はねこ？東京の付近、東京の付近の町。名前をちょっと忘れました。その町の温泉が大人気だそうです。

堀：東京の周りね。東京の周りもたくさんありますね。いいところがね。ただ、東京の周りは人がたくさんいるんで、混んでる。

ワ：はい、わかりました。だから、冬の時、冬の時と夏の時、どちらのほうが温泉へ行ったほうがいいですか。

堀：あのね、行くのは大変だけど、冬の時のほうが私は好きです。というのは、さっき言ったように、温泉の中でお酒飲むのは冬のほうが気持ちいい。

ワ：雪山が見えて、

堀：そう。

ワ：お酒を飲んだり、

堀：雪の中で温泉に入ってってのは、非常にいい眺めですね。

ワ：はい。はい。日本人は一般的に家にお風呂に入りますか。

堀：家にお風呂があって、毎日だいたい入ると思います。

ワ：あ〜、毎日入ると思います？中国人はシャワーだけ。

堀：アメリカ人と似てますね。

ワ：堀さんは今アメリカに住んでいらっしゃいます。お風呂に入ります。

堀：はい、毎日入ります。

ワ：今、アメリカのアパート

堀：アパートです。

ワ：アパートにお風呂があります。

堀：あります。

ワ：あ〜、いいですね。

堀：そうですね。

ワ：毎日お風呂に入る、入った後、お風呂自分で洗濯、洗濯しましたか。

堀：毎日はしないですね。ん〜、一週間に一回ぐらい。

ワ：はい。堀さんは中国に行ったことありますか。

堀：あります。

ワ：どちらですか。

堀：上海

ワ：ああ、上海？

堀：はい

ワ：私の出身の町は上海から車で５時間です。

堀：あ〜、５時間。

ワ：はい、中型都市で近いです。

堀：なんていう名前ですか。

ワ：ゴウヒ市。

堀：ごうひし

ワ：あんこう州のしょと、あんこう州のキャピタル町です。

堀：ああ、そうですか。

ワ：ごうひ市

堀：大きい町ですか。

ワ：中型、中型都市だと思います。はい。上海は大都市

堀：はい。

ワ：です。堀さんは上海に行った時、旅行をしましたか。仕事？

堀：仕事です。

ワ:はい。JFE STEELの仕事

堀：そうです。お客さんがあって、お客さんところに行きました。

ワ：ああ、はい。

堀：ミンポーってわかります。

ワ：ミンポー、ミンポーは

堀：町の名前ですね。

ワ：町の？

堀：上海の

ワ：ああ、はい。知っています。

堀：はい。上海の近く

ワ：他の省の主な都市。はい。上海をどう思われますか。

堀：大きな町ですね。

ワ：東京みたいですか。

堀：東京みたいかというと

ワ：人が多くて、高いビルがたくさんあります。

堀：うーん、そういう点では東京みたいと言えるけれど、やっぱり雰囲気が違いますね。東京とはね。

ワ：どう違うと思われますか。

堀：どう違うか。

ワ：東京には上下関係も、もっと。。。

堀：私が行ったのは、１２、３年前だと思うんですけど。

ワ：３年前？

堀：あのう、すごい活気がありましたね。町に。やっぱり、どんどん、こう町が大きくなってるっていう。建物を建ててる。建設現場もたくさんあったし。

ワ：そうですか。

堀：そういう活気がありましたね。

ワ：上海でホテルに泊まった。泊まりましたか。

堀：はい。ホテルに泊まりました。

ワ：日本のホテルに似ていますか。

堀：アメリカのホテルのほうが似てると思いますね。

ワ：ホテルは全部しよう風、しよう風だと思います。

堀：西洋風。

ワ：西洋風。ようせき、ようせきだと思います。

堀：はい。

ワ：だから、私は日本のしょくよく、よくしょくがあるの旅館が興味あります。特色だと思います。ホテルと違い。

堀：日本の旅館では食事がだいたいつくんですよね。夕飯と朝ご飯ついてて、部屋とかでゆっくり食べられるんので、あのう、非常にくつろぐことができます。

ワ：ああ、はい。１日の朝ご飯と晩ご飯もありますか。

堀：はい。つきますね。

ワ：いいですね。ホテルに朝ご飯だけ？

堀：そうですね。普通ホテルは朝ご飯だけですよね。

ワ：はい。私はアメリカのモーテルに泊まったこと、泊まった時、ホテルの朝ご飯はマフィンやオレンジジュースやコーヒーがありますが、あまりおいしくないと思います。

堀：ああ、そういう意味で言うと、日本はおいしいご飯を食べさしてくれます。

ワ：堀さん、アメリカのホテルを、ホテルに泊まった、泊まる時、自分で歯ブラシやスリッパのことを準備

堀：はい

ワ：準備しますか。

堀：はい。自分で持ってきます。はい。

ワ：はい。だから、アメリカのホテルやモーテルな、モーテルもこの施設がない。ないですね。

堀：ああ、歯ぶらしとかスリッパですか。

ワ：はい。

堀：ん、まあ、確かにないけれど、部屋は広いですよね。日本の旅館よりアメリカのほうが広いんで、そういう意味ではいいところと悪いところと両方ともあるんじゃないかなと思います。

ワ：私もそう思います。日本にはラブホテルがある、あるそうです。そうですね。

堀：あります。

ワ：特別ですね。アメリカがあまりない。

堀：あ？中国もないでしょう？

ワ：中国は、似て、日本のラブホテル似ている、似ていることがあります。

堀：あるんですか？

ワ：たぶん大学の近くの時間で泊まれることですね。

堀：なるほど

ワ：東京にはたくさんラブホテルが

堀：あります。たくさんあります。

ワ：日本のドラマでラブホテルを見ることがあります。

堀：ああ、はいはい。

ワ：はい。いいアイデアだと思います。

堀：うーん。

ワ：ターゲット、ターゲットグループがあるので、いい、いい産業と思います。

堀：でも、結構周りの人からは嫌われる、と言う、と言われています。

ワ：うん。

堀：ラブホテルができると反対する人がたくさんいます。

ワ：日本、堀さんはいつ日本へか。。。おお、時間？５分を超えます。

今日は本当にありがとうございました。

堀：ありがとうございました。

ワ：とても楽しかったです。

堀：はい、私も楽しかったです。

ワ：またまた今度今度教えてもっと教えてください。

堀：また日本語で話しましょう。

ワ：はい、ありがとうございます。

堀：ありがとうございました。